

# 青森県経済統計報告

平成 27 年 9 月 4 日

企画政策部統計分析課

## 1 青森県の推計人口（平成 27 年 8 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,308,552 人（対前月 720 人減少）
自然動態	620 人減少（出生者数 724 人、死亡者数 1,344 人）
社会動態	100 人減少（転入者数 1,695 人、転出者数 1,795 人）

## 2 本県の経済動向（平成 27 年 6 月・7 月の経済指標を中心として）

### （1）経済概況

本県経済は、基調的には緩やかに持ち直している。

### （2）主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向 …… 2
  - ・平成 27 年 6 月の**青森県鉱工業生産指数**（平成 22 年=100）は、季節調整済指数が 105.4 で、前月比 2.9%の低下となり、2 カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 110.4 で、前年同月比 7.6%の上昇となり、4 カ月連続で前年同月を上回った。
  - ・平成 27 年 7 月の**大口電力使用量**は 2 億 2,955 万 kWh で、前年同月比 4.7%増となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-2) 雇用労働 …… 3
  - ・平成 27 年 6 月の**定期給与**は 217,798 円で前年同月比 2.3%減となった。**総実労働時間**は 160.5 時間で前年同月比 0.3%減、**所定外労働時間**は 11.3 時間で前年同月比 16.0%増となった。
  - ・平成 27 年 7 月の**有効求人倍率**（季節調整値）は 0.94 倍で、前月を 0.01 ポイント上回った。また、**新規求人倍率**（季節調整値）は 1.20 倍で、前月を 0.11 ポイント下回った。
  - ・**雇用保険受給者実人数**は 7,550 人で、前年前月比 12.2%の低下となった。
- (2-3) 物 価 …… 5

平成 27 年 7 月の**青森市消費者物価指数**（平成 22 年=100）は、総合指数が 103.4 となり、前月比 0.3%の上昇、前年同月比 0.5%の下落となった。
- (2-4) 個人消費 …… 6
  - ・平成 27 年 7 月の**大型小売店販売額**は、全店舗ベースが 141 億円で前年同月比 1.3%増となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでも前年同月比 1.1%増となり、同様の動きとなった。
  - ・平成 27 年 6 月の軽自動車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 3,735 台で、前年同月比 14.6%減となり、6 カ月連続で前年同月を下回った。
  - ・平成 27 年 7 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 921 千人で前年同月比 9.3%増となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 142 千人で前年同月比 2.3%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-5) 建 設 …… 7
  - ・平成 27 年 7 月の**新設住宅着工戸数**は 608 戸で、前年同月比 9.2%増となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。
  - ・平成 27 年 7 月の**公共工事請負額**は 215 億 9,200 万円で前年同月比 2.1%増となった。また、年度累計請負金額は、4 カ月連続で前年同月を下回った。
- (2-6) 企業倒産 …… 8

平成 27 年 7 月の**企業倒産**は、件数は 3 件で前年同月比 50.0%減となった。負債総額は 1 億 6,200 万円で前年同月比 82.6%減となった。

### （3）景気動向指数 C I（平成 27 年 6 月分）…………… 9

先行指数	129.1（前月を 5.9 ポイント上回り、3 カ月連続で上昇した）
一致指数	119.3（前月を 4.2 ポイント下回り、3 カ月ぶりに下降した）
遅行指数	116.8（前月を 3.3 ポイント上回り、5 カ月ぶりに上昇した）

# 1 青森県の推計人口（平成27年8月1日現在）

## 【概況】

平成27年8月1日現在の本県推計人口は、1,308,552人で、前月に比べ720人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が724人、死亡者数が1,344人で、620人の減少となった。

### ○社会動態

転入者数が1,695人、転出者数が1,795人で、100人の減少となった。

### 総人口の推移

（単位：人）

	総数	男	女	対前月増減率	増減数	自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
26.8.1	1,323,182	621,004	702,178	-0.041%	-537	-456	840	1,296	-81	1,584	1,665
26.9.1	1,322,461	620,733	701,728	-0.054%	-721	-532	749	1,281	-189	1,669	1,858
26.10.1	1,321,895	620,565	701,330	-0.043%	-566	-603	831	1,434	37	1,528	1,491
26.11.1	1,321,130	620,185	700,945	-0.058%	-765	-721	784	1,505	-44	1,427	1,471
26.12.1	1,320,329	619,808	700,521	-0.061%	-801	-729	657	1,386	-72	931	1,003
27.1.1	1,319,297	619,304	699,993	-0.078%	-1,032	-845	680	1,525	-187	965	1,152
27.2.1	1,318,059	618,669	699,390	-0.094%	-1,238	-1,072	705	1,777	-166	1,064	1,230
27.3.1	1,316,886	618,120	698,766	-0.089%	-1,173	-754	642	1,396	-419	965	1,384
27.4.1	1,310,809	614,893	695,916	-0.461%	-6,077	-724	737	1,461	-5,353	3,806	9,159
27.5.1	1,310,743	615,057	695,686	-0.005%	-66	-593	735	1,328	527	3,458	2,931
27.6.1	1,309,993	614,668	695,325	-0.057%	-750	-661	707	1,368	-89	1,222	1,311
27.7.1	1,309,272	614,260	695,012	-0.055%	-721	-607	750	1,357	-114	1,257	1,371
27.8.1	1,308,552	614,004	694,548	-0.055%	-720	-620	724	1,344	-100	1,695	1,795

### 7月中の人口動態の推移

（単位：人）

年月		平17.7	18.7	19.7	20.7	21.7	22.7	23.7	24.7	25.7	26.7	27.7
自然動態	出生者数	844	914	948	895	804	845	796	827	813	840	724
	死亡者数	1,071	1,131	1,215	1,162	1,234	1,227	1,214	1,306	1,301	1,296	1,344
	自然増減数	-227	-217	-267	-267	-430	-382	-418	-479	-488	-456	-620
社会動態	県外からの転入	1,906	1,930	1,939	1,886	1,949	1,681	2,013	1,829	1,760	1,584	1,695
	県外への転出者数	2,395	2,153	2,254	1,856	1,981	1,759	1,952	1,875	1,754	1,665	1,795
	社会増減数	-489	-223	-315	30	-32	-78	61	-46	6	-81	-100
増減数計		-716	-440	-582	-237	-462	-460	-357	-525	-482	-537	-720

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成22年11月以降の人口は平成22年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

## 2 本県の経済動向

### (2) 主要経済指標の動向

#### (2-1) 生産動向

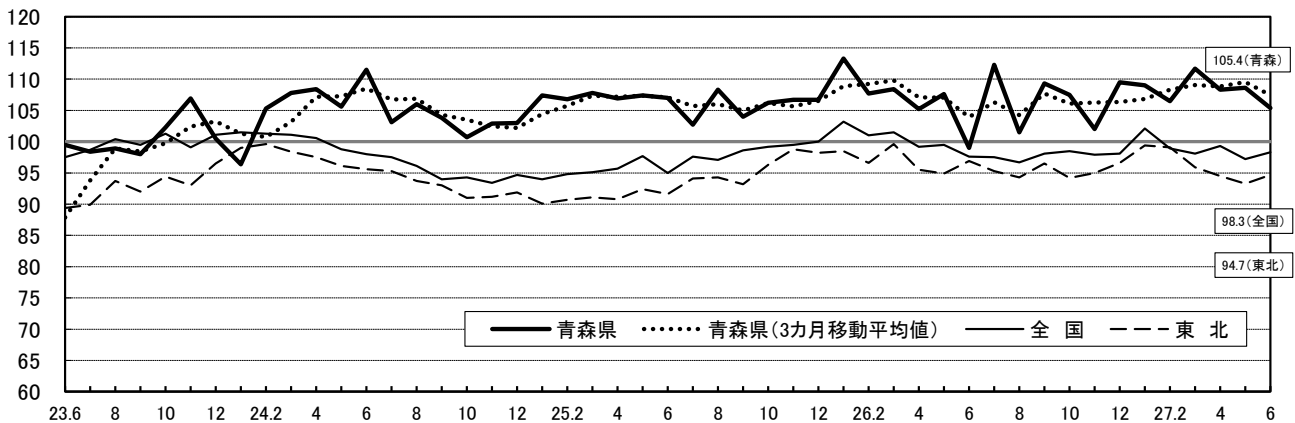
##### (2-1-1) 製造業の生産

平成27年6月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が105.4で、前月比2.9%の低下となり、2カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は110.4で、前年同月比7.6%の上昇となり、4カ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、金属製品工業などが上昇に寄与した一方、電気機械工業、生産用機械工業、食料品工業などが低下し、鉱工業全体では2.9%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成22年=100)

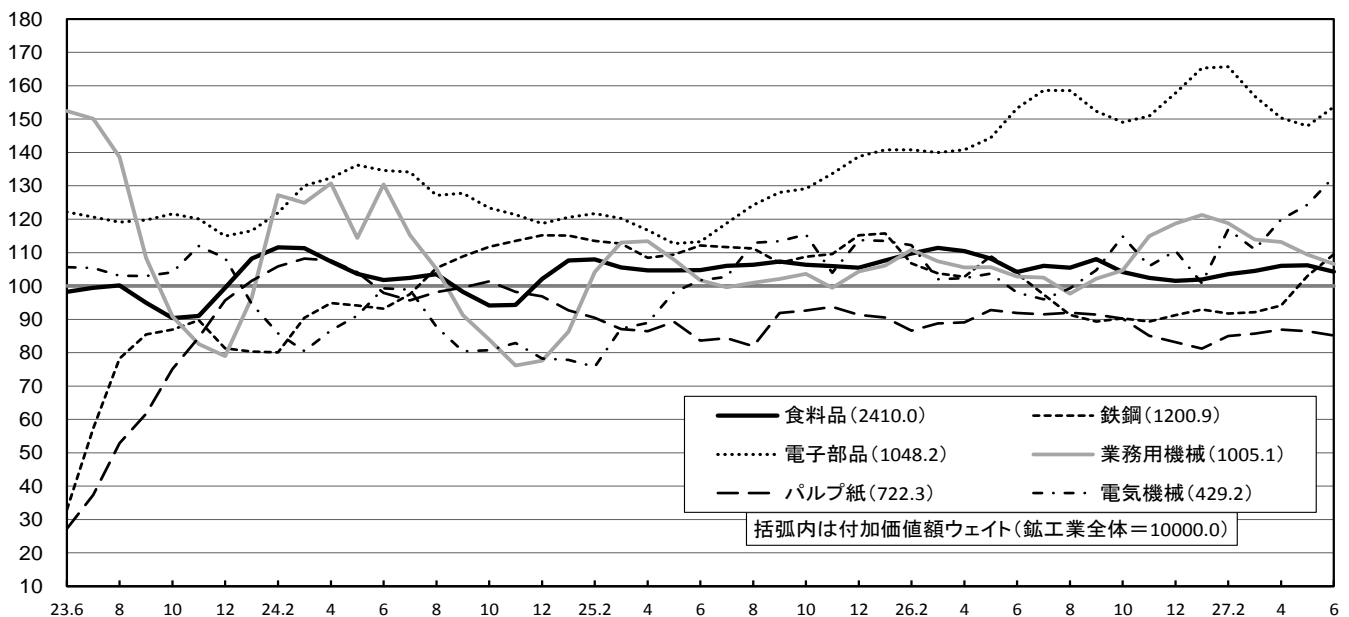


◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 -2.9%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
輸送機械工業	34.7	127.2	電気機械工業	-13.3	-88.3
電子部品・デバイス工業	6.9	116.3	生産用機械工業	-55.3	-83.1
金属製品工業	18.1	67.4	食料品工業	-2.3	-61.7
鉄鋼業	4.5	62.8	業務用機械工業	-5.3	-59.0
情報通信機械工業	85.9	52.9	パルプ・紙・紙加工品工業	-6.9	-47.0

主要業種の生産動向(季節調整済指数・3カ月移動平均値)

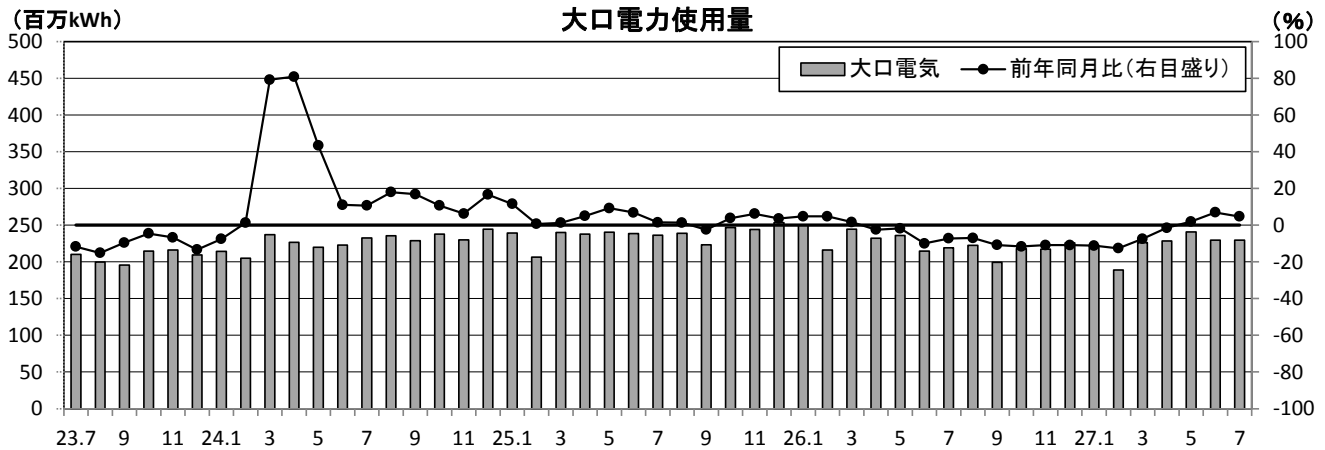
(平成22年=100)



資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

## (2-1-2) 電力使用量

平成27年7月の大口電力使用量は2億2,955万kWhで、前年同月比4.7%増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。製造業、公益事業で増加したことによる。



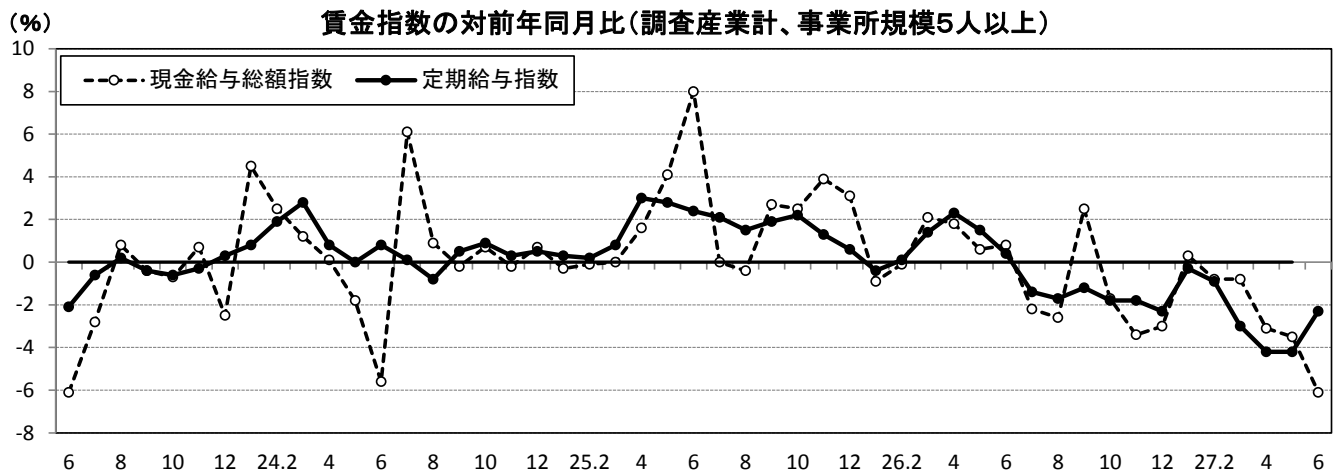
資料:東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

## (2-2) 雇用労働

### (2-2-1) 給与・労働時間 (毎月勤労統計調査結果)

平成27年6月の定期給与は217,798円で定期給与指数(平成22年=100)では98.9となり、前年同月比2.3%減と12カ月連続の減(現金給与総額334,174円、現金給与総額指数129.5、前年同月比6.1%減と5カ月連続の減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.6となった。

総実労働時間は160.5時間で、総実労働時間指数は103.8となり、前年同月比0.3%減と3カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は11.3時間で、所定外労働時間指数は124.2となり、前年同月比16.0%増と7カ月連続の増となった。



資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

### 賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H22=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	334,174 円	425,201 円	129.5	134.3	-6.1 %	-2.5 %
定期給与	217,798 円	260,547 円	98.9	99.1	-2.3 %	0.3 %
特別給与	116,376 円	164,654 円	—	—	—	-6.7 %
総実労働時間	160.5 時間	149.4 時間	103.8	101.9	-0.3 %	-0.1 %
所定内労働時間	149.2 時間	138.7 時間	102.5	101.7	-1.2 %	-0.1 %
所定外労働時間	11.3 時間	10.7 時間	124.2	104.9	16.0 %	-0.8 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

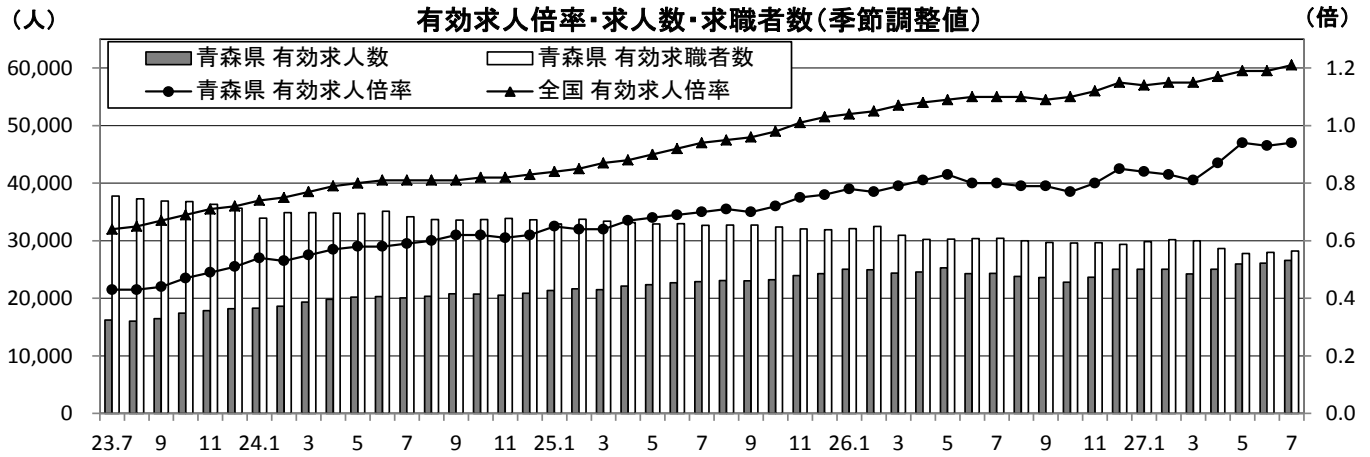
2.前年同月比は指数によって算出している。

3.平成22年1月分から、平成19年11月改訂の日本標準産業分類に基づいて結果の公表をしている。

資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

### (2-2-2) 有効求人倍率

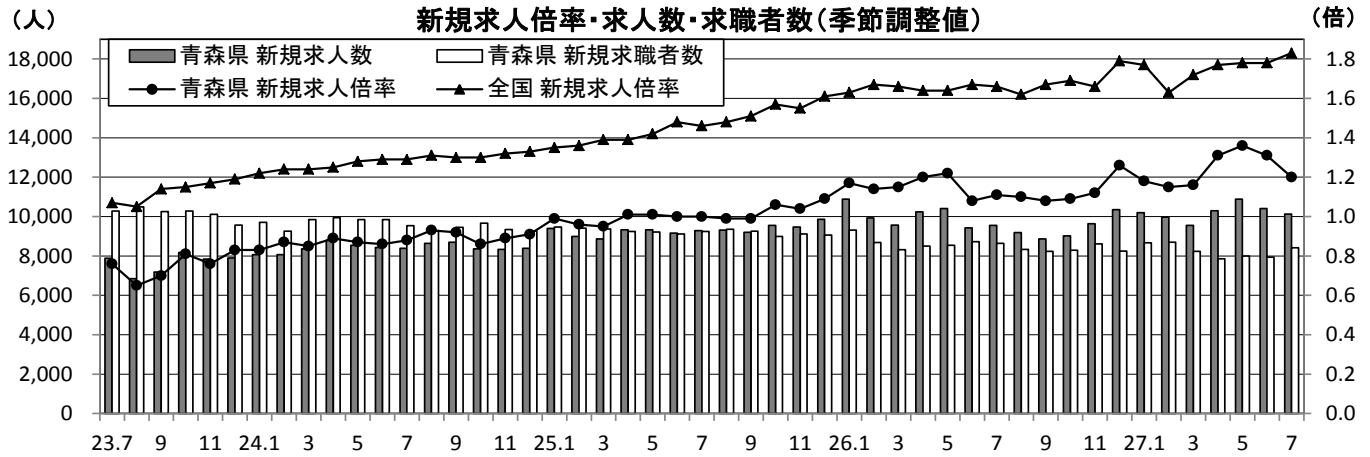
平成27年7月の有効求人倍率（季節調整値）は0.94倍で、前月を0.01ポイント上回り、5月期と並んで過去最高となった。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

### (2-2-3) 新規求人倍率

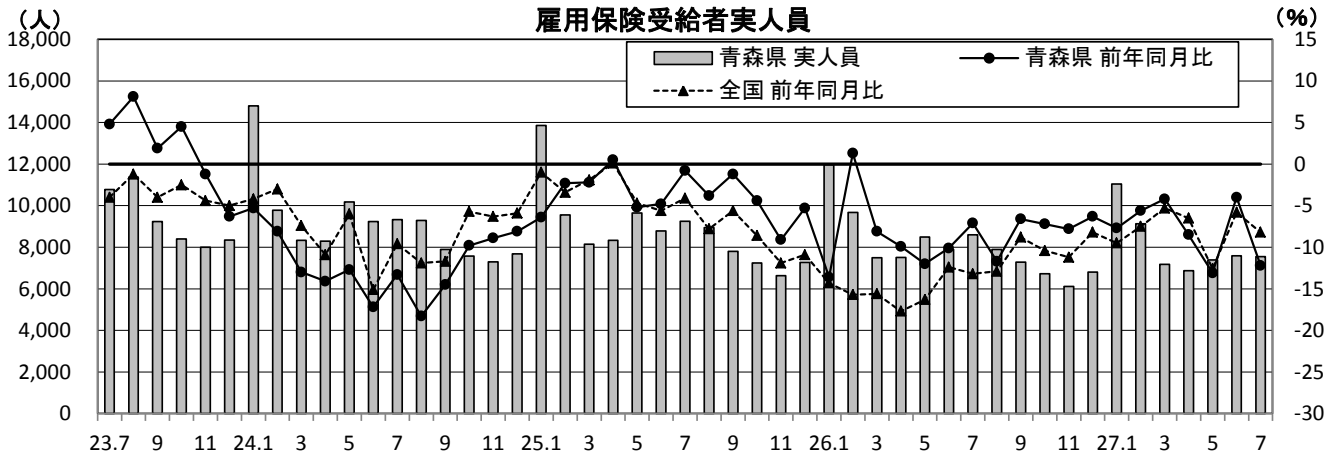
平成27年7月の新規求人倍率（季節調整値）は1.20倍で、前月比0.11ポイント減となり、2カ月連続で前月を下回った。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

### (2-2-4) 雇用保険受給者数

平成27年7月の雇用保険受給者実人数は7,550人で、前年同月比12.2%減となり、17カ月連続で前年同月を下回った。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」、厚生労働省「雇用保険事業月報」

## (2-3) 物価

平成27年7月の青森市消費者物価指数(平成22年=100)は、総合指数が103.4となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ0.5%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.9となり、前月と比べ0.2%の上昇、前年同月と比べ0.7%の下落となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は101.1となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ0.7%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.3%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料(生鮮魚介など)、教養娯楽(教養娯楽用耐久財など)などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ0.5%の下落となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道(他の光熱など)、交通・通信(自動車等関係費など)などの下落が要因となっている。

図1 総合指数の動き

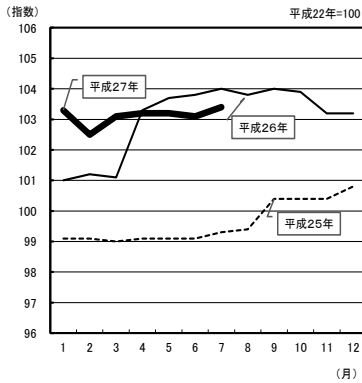


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

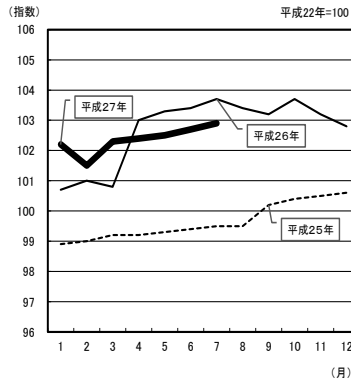
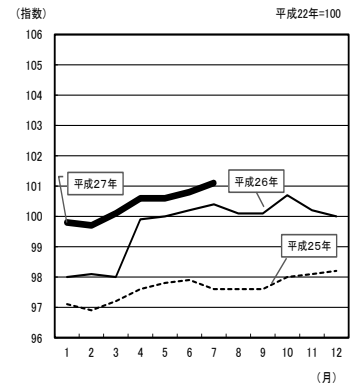


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



### 10大費目指数の動き

(平成22年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家 賃を除く 総合	食料(酒類 を除く)及 びエネル ギーを除く 総合	食料	生鮮 食品	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事 用品	被及履 及び物	服 及び物	保 険	健 康	交通・ 通信	教 育	教 娯	養 楽	諸 雑 費
当月指数	103.4	102.9	104.4	101.1	105.0	114.5	100.0	111.3	91.4	100.3	101.0	105.5	100.9	99.3	109.7			
前月比 (%)	0.3	0.2	0.3	0.3	0.6	1.5	0.2	▲1.0	0.5	▲1.0	▲0.2	0.6	0.0	1.3	0.1			
寄与度	—	0.22	0.29	0.20	0.17	0.07	0.03	▲0.10	0.02	▲0.04	▲0.01	0.08	0.00	0.13	0.01			
前年 同月比 (%)	▲0.5	▲0.7	▲0.6	0.7	1.8	3.7	0.8	▲8.7	2.0	▲3.9	2.0	▲1.8	0.9	0.2	1.1			
寄与度	—	▲0.67	▲0.50	0.43	0.46	0.17	0.16	▲1.00	0.06	▲0.14	0.08	▲0.24	0.02	0.02	0.07			

資料:県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

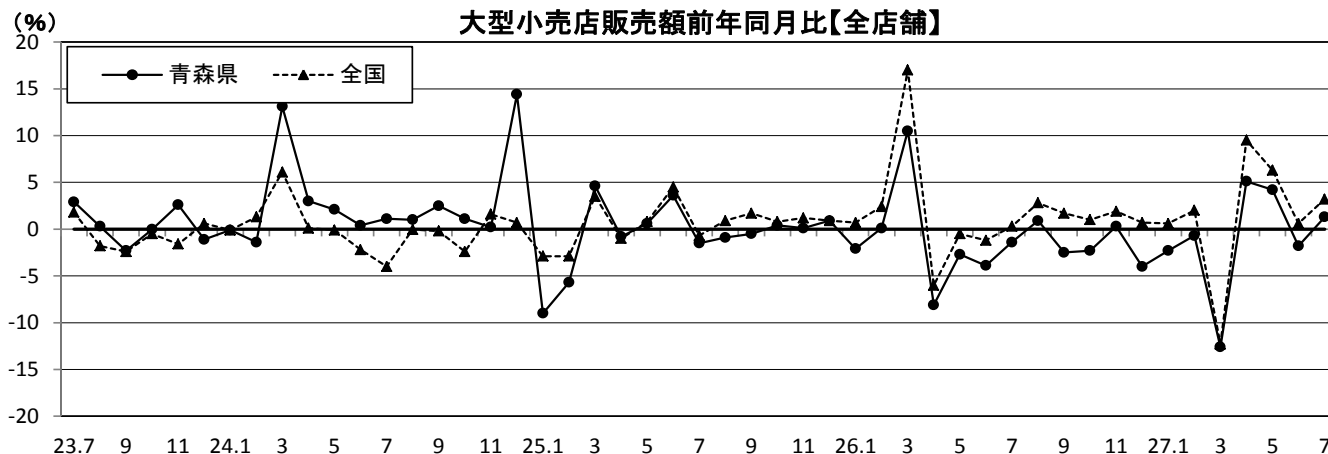
本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

## (2-4) 個人消費

### (2-4-1) 大型小売店販売額

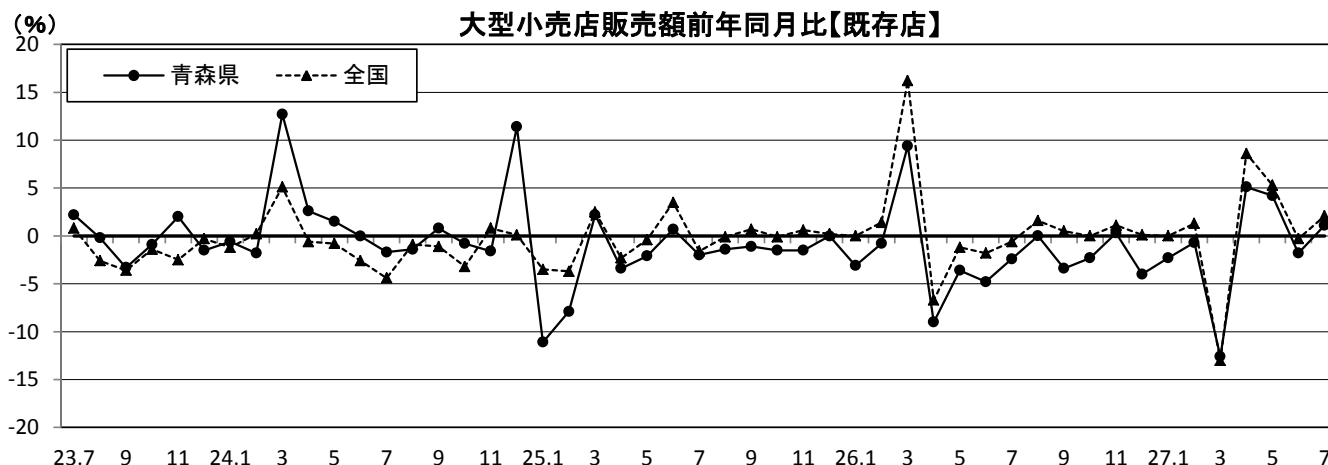
平成27年7月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが141億円で前年同月比1.3%増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでも前年同月比1.1%増となり、同様の動きとなった。スーパーが増加したことによる。

大型小売店販売額前年同月比【全店舗】



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」、経済産業省「商業販売統計速報」

大型小売店販売額前年同月比【既存店】



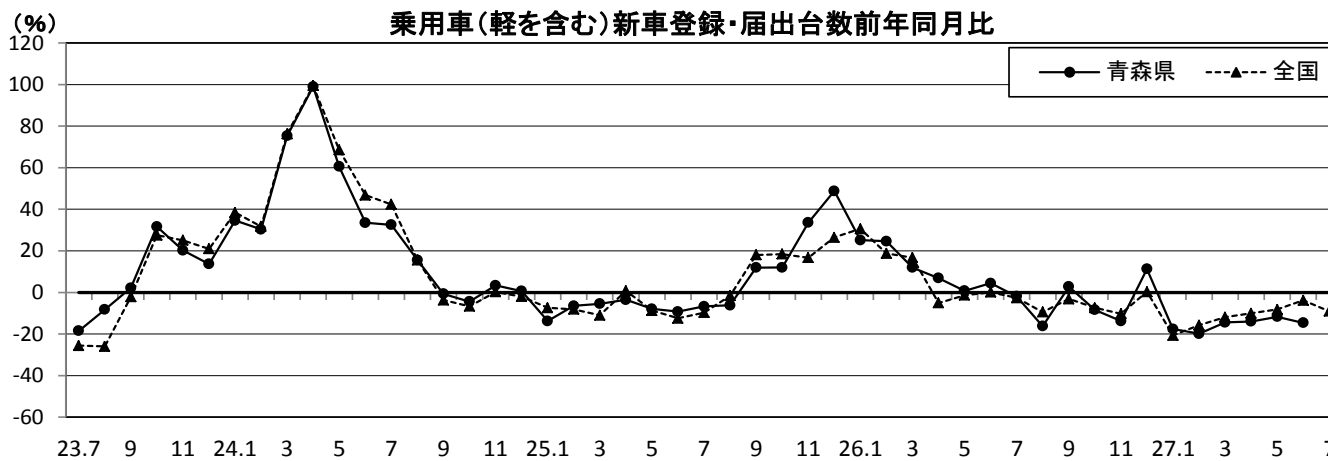
資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」、経済産業省「商業販売統計速報」

\* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

### (2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

平成27年6月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,735台で、前年同月比14.6%減となり、6カ月連続で前年同月を下回った。普通車、小型車、軽乗用車のいずれもが減少したことによる。

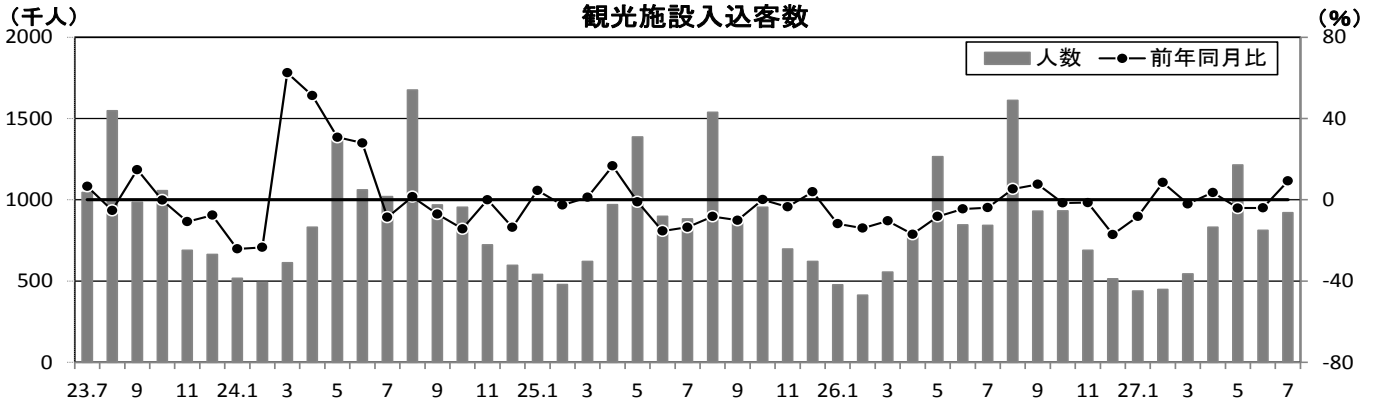
乗用車(軽を含む)新車登録・届出台数前年同月比



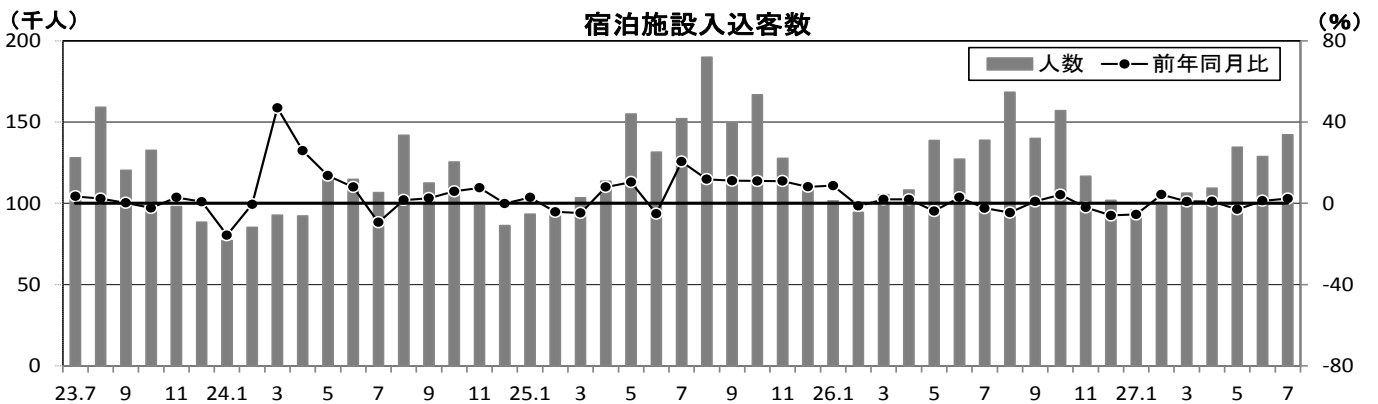
資料：日本自動車販売協会連合会青森県支部「自動車登録状況 新車月報」、同連合会「自動車統計データ」

### (2-4-3) 観光入込客数

平成27年7月の観光入込客数は、主な観光施設が921千人で前年同月比9.3%増となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は142千人で前年同月比2.3%増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。観光施設は青森市、八戸市等の施設で増加し、宿泊施設は弘前市等の施設で増加したことによる。



資料：県観光企画課「月例観光統計」※観光施設34施設（H23年は34施設、H24年1月～H26年3月は35施設、H26年4月以降は34施設対比）

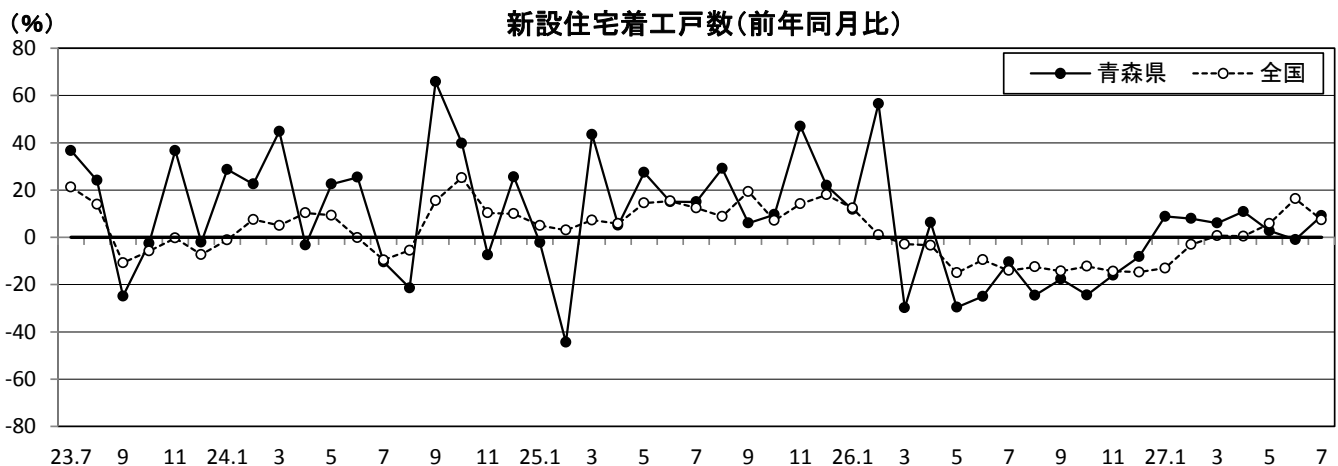


資料：県観光企画課「月例観光統計」※宿泊施設55施設（H23年は52施設、H24年1～3月は57施設、H24年4～9月は60施設、H24年10月～11月は61施設、H24年12月～H26年3月は57施設、H26年4～12月は56施設、H27年1月以降は55施設対比）

### (2-5) 建設

#### (2-5-1) 住宅建設

平成27年7月の新設住宅着工戸数は608戸で前年同月比9.2%増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。持家が3カ月ぶりに、分譲住宅が2カ月ぶりに増加したことによる。

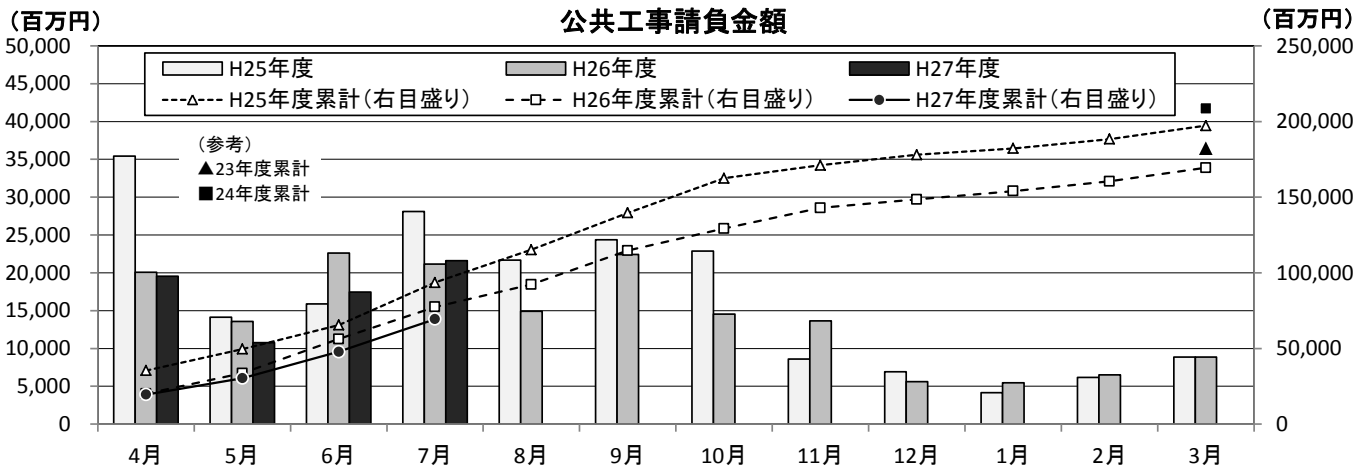


資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」



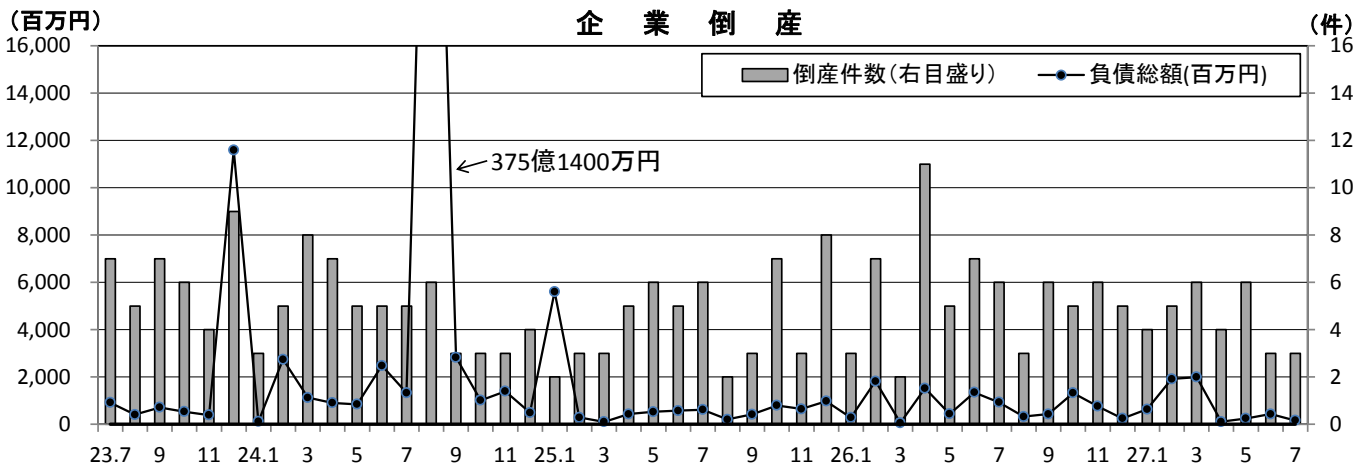
## (2-5-2) 公共事業

平成27年7月の公共工事請負金額は215億9,200万円で前年同月比2.1%増となった。また、年度累計請負金額は、4カ月連続で前年同月を下回った。県、市町村で増加、国、独立行政法人等で減少したことによる。



## (2-6) 企業倒産

平成27年7月の企業倒産は、件数は3件で前年同月比50.0%減となった。負債総額は1億6,200万円で前年同月比82.6%減となった。いずれも1億円未満の小口倒産の発生により減少した。



### (3) 青森県景気動向指数

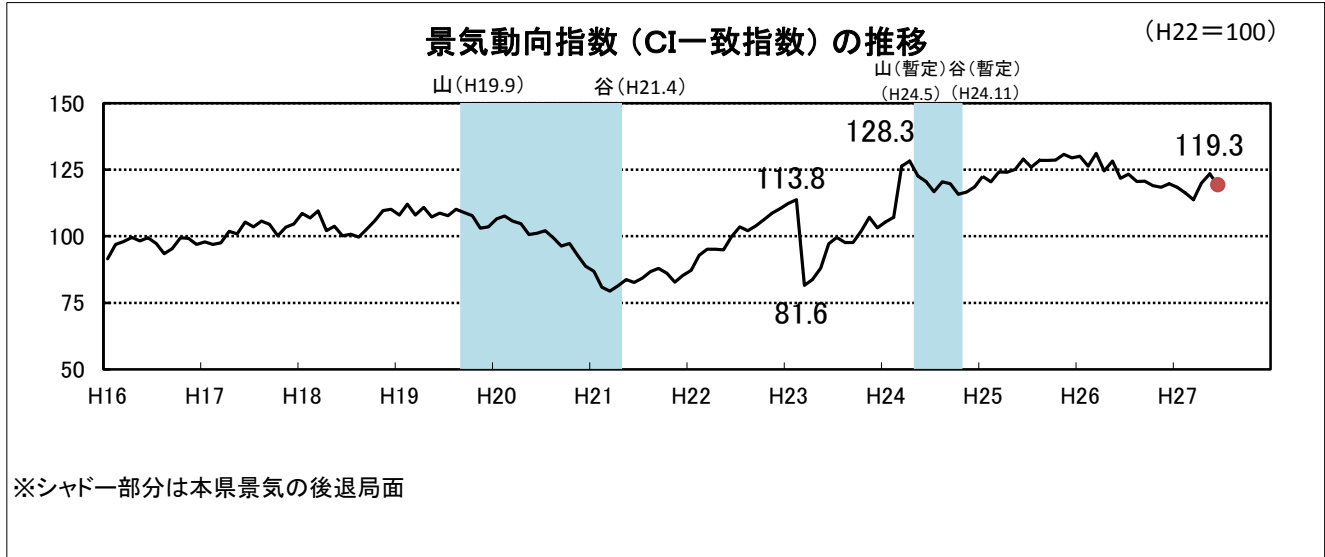
平成27年6月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 129.1、一致指数 119.3、遅行指数 116.8 となった。

先行指数は、前月を 5.9 ポイント上回り、3 カ月連続で上昇した。

一致指数は、前月を 4.2 ポイント下回り、3 カ月ぶりに下降した。

遅行指数は、前月を 3.3 ポイント上回り、5 カ月ぶりに上昇した。

6月の一致指数は、消費や生産等の指標がマイナスになったことから下降した。



#### ●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
<b>先行系列</b>					
中小企業景況DI	6.03	3カ月ぶり	新規求人倍率（全数）	-4.12	3カ月ぶり
企業倒産件数	3.22	2カ月ぶり	乗用車新車登録届出台数	-0.64	4カ月ぶり
生産財生産指数	1.74	2カ月ぶり	所定外労働時間指数（全産業）	-0.19	3カ月ぶり
			新設住宅着工床面積	-0.11	4カ月連続
			建築着工床面積	-0.03	3カ月ぶり
<b>一致系列</b>					
大口電力使用量	0.13	4カ月連続	大型小売店販売額（既存店）	-2.16	2カ月連続
東北自動車道IC利用台数	0.13	2カ月連続	有効求人倍率（全数）	-1.33	3カ月ぶり
輸入通関実績（八戸港）	0.02	2カ月連続	鉱工業生産指数	-0.96	2カ月ぶり
			旅行取扱高	-0.03	2カ月連続
<b>遅行系列</b>					
りんご消費地市場価格	3.29	8カ月連続	家計消費支出（勤労者世帯：実質）	-0.87	5カ月連続
常用雇用指数（全産業）	1.27	2カ月ぶり	青森市消費者物価指数（総合）	-0.47	3カ月連続
現金給与総額（全産業）	0.12	2カ月ぶり	公共工事請負金額	-0.07	5カ月連続
県内金融機関貸出残高	0.09	2カ月ぶり			

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(参考) 青森県景気動向指数（D I）		
先行指数	87.5%	（7カ月連続で50%を上回った）
一致指数	57.1%	（3カ月連続で50%を上回った）
遅行指数	14.3%	（3カ月連続で50%を下回った）